

地域環境 NPO における会員層と活動層の変化

—NPO 法人「びわこ豊穰の郷」の会員アンケート調査結果の 4 時点比較をもとに—

山 添 史 郎

野 田 浩 資

(京都府立大学大学院・滋賀県日野町役場) (京都府立大学)

1. 問題の背景と課題の設定

水路や河川などの水環境の保全と継承において、地域で活動するNPOには大きな役割が期待されている一方で、NPOにおいては、その持続性（会員・担い手の確保、世代交代など）が課題となっている。本報告でとりあげる滋賀県守山市のNPO法人「びわこ豊穰の郷」は、活動の見直しやコアメンバーの交代などを経験しながらも活発に活動を継続してきており、会員アンケート調査をもとに、会員層と活動層がどのように変化してきているかを明らかにし、水環境の保全を目的とする地域環境NPOの持続性について検討する。

2. 「びわこ豊穰の郷」の概要

「びわこ豊穰の郷」は、琵琶湖赤野井湾流域の保全を目的に、滋賀県エコライフ推進課および守山市の働きかけにより、1996年9月に地域住民、企業、団体の参加によって「豊穰の郷赤野井湾流域協議会」として発足し、2004年にはNPO法人化がなされた。「びわこ豊穰の郷」は、「ゲンジボタルが乱舞する故郷の再現」「琵琶湖とシジミに親しむ湖辺の再現」を目標として掲げ、活動を行ってきた。これまでの活動展開については、「第Ⅰ期：設立・整備期」「第Ⅱ期：成長・定着期」「第Ⅲ期：成熟・転換期」「第Ⅳ期：模索・再成長期」という4つの時期に区分することができる。

「第Ⅰ期：設立・整備期」（1996年～2000年）は、団体の立ち上げの時期であり、守山市が事務局を担い、滋賀県・守山市からの補助金を主な財源として運営が行われていた。会員構成においては、自治会・町内会を通じて会員募集が行われたことから、「男性」「農家」「地付」の会員の割合が高かった。

「第Ⅱ期：成長・定着期」（2001年～2008年）は、組織の整備と安定的運営に至る時期、活動範囲の拡張の時期であり、NPO法人化がなされた。会員構成においては、「第9回世界湖沼会議守山セッション」などのイベントを通じて幅広くボランティア募集が行われ、学生ボランティア等の参加も増え、「女性」「非農家」「市外」といった会員の割合が高くなった。

「第Ⅲ期：成熟・転換期」（2009年～2018）は、組織・活動の整理・見直しなどの時期である。活動範囲の見直しが行われ、琵琶湖岸・内湖の一斉清掃活動である「赤野井湾湖岸・小津袋クリーン大作戦」やボランティアの手で侵略的外来種の除去を行う「オオバナミズキンバイの除去活動」など水環境への直接的な働きかけが進められた。

現在進行中の「第Ⅳ期：模索・再成長期」（2019年～）は、持続と継承に向けた模索の時期、また、再成長の時期として位置づけられる。人材確保と後継者の育成に力が注がれ、モデル河川づくり活動においては、子どもたちによる地域の水環境を保全する取り組みが進められ、子育て世代の参加も増加しつつある。

3. 調査方法と分析の視点

報告者らは、これまで、「びわこ豊穡の郷」に対し、行事やイベントなどへの参与観察を実施するとともに、コアメンバーへのインタビュー調査や会員へのアンケート調査を実施してきた。

本報告では、1999年、2007年、2015年、2023年の4時点で実施した「びわこ豊穡の郷」の会員アンケート調査の結果をもとに、会員構成と会員の入会理由の変化について分析を行う。

4. 考察

会員アンケート調査の結果について、1999年、2007年、2015年、2023年の4時点の比較を行った。会員構成においては、「70代以上」の会員の割合が増加する一方で、「49歳以下」の会員についても一定の増加傾向がみられ、「女性」や「非農家」、「市外」といった会員の割合は、より増加していた。会員の入会理由においては、「水辺の生き物への関心」や「住民主体の環境保全活動への関心」が増加傾向にあった。

本報告では、「びわこ豊穡の郷」の会員を活動への参加の程度に基づいて区分し、入会理由の変化に着目することによって、会員層と活動層がどのように変化してきているかを明らかにし、地域環境NPOの活動継承に向けた担い手の確保、NPOの持続性について検討する。

文献

野田浩資（2007）水環境保全とNPO——ローカル・ガバナンス形成の可能性と課題，水資源・環境研究20，15-24.

霜浦森平・山添史郎・植谷正紀・塚本利幸・野田浩資（2009）地域環境NPOの活動の包括性とジレンマ——滋賀県守山市のNPO法人「びわこ豊穡の郷」を事例として，環境社会学研究15，104-118.

山添史郎・霜浦森平・植谷正紀・塚本利幸・野田浩資（2008）地域環境NPOの参加者の居住歴と活動の志向性——滋賀県守山市のNPO法人「びわこ豊穡の郷」を事例として，水資源・環境研究21，25-34.

山添史郎・塚本利幸・霜浦森平・野田浩資（2015）地域環境NPOの会員構成の変化——NPO法人「びわこ豊穡の郷」を事例として，京都府立大学学術報告（公共政策）7，23-35.

山添史郎・塚本利幸・霜浦森平・野田浩資（2017）地域環境NPOの展開プロセスと参加層の変化——NPO法人「びわこ豊穡の郷」の会員アンケート調査の3時点比較，水資源・環境研究30(2)，66-72.

山添史郎・野田浩資（2018）地域環境NPOの持続的活動展開と多面的役割——NPO法人「びわこ豊穡の郷」を事例として，水資源・環境研究31(1)，58-65.

山添史郎・塚本利幸・霜浦森平・野田浩資（2020）地域環境NPOの活動展開と参加の構造の変化——NPO法人「びわこ豊穡の郷」の20年を振り返って，環境社会学研究26，111-124.